



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2000年(平成12年)10月25日

第32号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒561-0881 豊中市中桜塚 2-28-7 Tel (6848) 1000

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループあれこれ みちしるべ

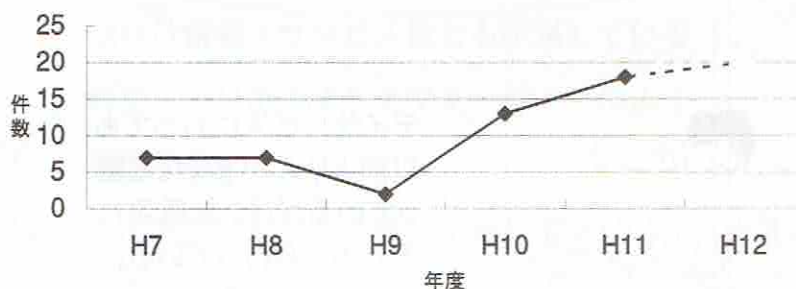


皆様のご近所でこんなふうに車椅子やアイマスク体験をしている子ども達に出会ったことはありませんか？

実はこの体験学習、講師は市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」の皆さんです。

5年間で約2,500名に体験学習を実施！！

みちしるべによる体験学習の推移



「みちしるべ」は、広範囲の活動を行っているグループで、その主な内容は、身体障害者のリハビリ介助、話し相手、外出介助、学校、企業などの車椅子・アイマスク体験学習の指導等の多岐にわたっています。

ここでは、その一例として小、中学校での車椅子体験学習を紹介します。昨年、教育委員会からの指導で小・中学校に対し、社会福祉教育の一環としてボランティア活動の体験学習が行われるようになり、その指導の依頼が「みちしるべ」に

寄せられました。この結果、昨年は小学校4校、中学校6校で体験学習が実施されました。

総体的には、真面目に指導を受け、校内だけでなく、街に出て、いろいろな障害を体験し、それなりのボランティア体験の効果は出ていると考えられます。彼等もこの体験を生かして、街で車椅子の人や、障害者、お年寄りに出会った時には、必要があればやさしい気持ちで、手助けが出来るようになってほしいと期待しています。

(みちしるべ M.H)

ボランティアレポーター訪問記 介護保険制度開始から半年・・・

介護保険導入にあたっては、多くの人々が現状のサービスをスムーズに保険へと移行させるために良い面や新たな問題点などを編集委員が取材しました。

ボランティアが利用者から聞いた 介護保険導入後のこの頃



民間のヘルパーさんをお願いしていた部分が介護保険になって安くなりました。

介護保険になってサービスが受けやすくなりました。(高齢者の抵抗が少なくなった。世間体を気にせずによくなった。)



少ない年金から保険料を引かれたら生活できなくなる。



障害者手帳は2級だが、介護保険では1級にしてもらってよかった。(要介護1が最重度でサービスがたくさん受けられると思っている)

ヘルパーさんが来てくれても話をする時間がなく、淋しい。



デイサービスに行っても以前より人が多くただ座っているだけ。お風呂に入れるから行っている。

ボランティアグループにとっては・・・



若い人の福祉への関心が高まったせいか、若い仲間が増えてうれしい。



一福祉の現場は今一

め懸命に準備されました。今、介護保険が実施され半年。それぞれの立場から介護保険の

居宅介護支援事業者の声

今回はサービスを提供する立場の声として居宅介護支援事業者連絡会の会長で豊中グリーンヒルの植村さんと副会長でアイリスケアセンターの館さんに質問形式で伺いました。

質問

1. 保険実施後、事業者の立場から一番大きな問題は？
2. 利用者が介護サービスをより良く利用する上でどのような対応や心がけが必要ですか？
3. 介護サービス事業で豊中市と他の市町村の違いは？
4. 豊中の高齢者介護ボランティア活動について、今後期待される場所は？

豊中グリーンヒル

1. ケアマネージャーが担当できる利用者の数に限度がある為にケアプラン作成の依頼があっても断らなければならなかった。
2. 良い事業者を見極めて選ぶことと思うが現状は情報・サービス量とも不足しているので、とりあえずケアマネージャーによく相談することでしょうか。
3. 入所施設・訪問リハ等が不足しており、他市へ頼るところが大きい。
4. 自立の独居高齢者や高齢のため昼間独居の方など介護保険で対応できないところでのボランティア活動を期待する。

アイリスケアセンター豊中

1. 全国的なケアマネージャーの不足。仕事が多く、責任が重いなど過酷な条件でやめる人も多い。
2. ケアマネージャーに希望をハッキリと伝える。コミュニケーションを密にする。
3. デイサービス・デイケアなど施設サービスが不足している。
4. ボランティアセンターなどと連携を取る必要性を感じる。活動の具体的な情報が欲しい。プラン作成時など保険での対応が難しいところにボランティア活動を期待する。

ボランティア体験プログラム

「誰もが、気軽に楽しくボランティア」を合言葉に豊中市社会福祉協議会と大阪府社会福祉協議会との共催で7月～8月にかけてボランティア体験プログラムを開催しました。小学生から高齢の方までボランティアに関心、興味のある方を対象に夏休みやボランティア休暇などを活用していただき、大阪府下の福祉施設や地域でボランティア体験に取り組んでいただきました。



豊中市内では、障害者福祉作業所や保育園など15施設(16プログラム)に協力していただき、約90名の参加者がありました。

参加者からは、「疲れましたが、とても楽しかった」「将来は福祉の仕事につきたい」などいろいろな感想が寄せられていました。

これからもボランティアセンターでは多くのの方々がボランティア活動に参加できるような環境作りを目指し、取り組んでいきます。



ボランティア受入施設連絡会議の開催

9月4日、働く婦人の家で「ボランティア受入れ施設連絡会議」を開催しました。

この会議は、「ボランティア体験プログラム」に協力していただいた市内の福祉施設や地域の担当者など9の団体の方にお集まりいただき、ボランティアの受入れ状況やこれからの課題について話し合いました。

今回初めて開催した会議でしたが、各担当者からは「皆さん熱心で、将来保育の仕事につきたいという人が多かった」「ボランティアさんには色々なものを感じ取ってもらうよう努めている」などの他に「作業所にいるメンバーに



ボランティアから積極的に声をかけて欲しかった」「きっちり事前学習を受けてから参加して欲しい」との意見がありました。

今回の会議を参考に今後のボランティアのあり方や取り組み方を検討しつつ、施設で今後も積極的にボランティア受入れを進めていただくことを確認し閉会しました。市社協では今後もこの会議を継続的に開催していきます。

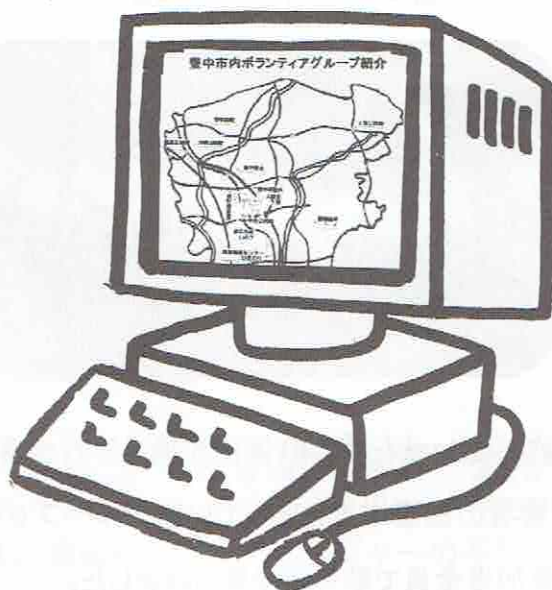
ホームページリニューアル

阪大生が市社協のホームページを作成

現在、市社協ではボランティアグループ「アクセス」の協力により、ボランティアセンターのホームページを開設しています。今回、大阪大学基礎工学部情報科学科の1回生の授業の一環として、市社協全体の活動紹介やボランティアセンターのページのバージョンアップに取り組みました。

これは大阪大学で今年度から新たに開始された「単に知識を教えるだけではなく、学生自身で勉強する力をつける」ということをねらいとした授業で学校外での取り組みで、学生達は班ごとに与えられたテーマに沿って取材を重ね、ページを完成させました。

贈呈式



完成したページ
(ボランちゃんの歌が流れてきます)

大学生とはいっても、ついこの間までは高校生。ホームページに関しても初心者の学生が多かったそうです。最初は「本当にできあがるのだろうか？」と不安げだった学生も取材を重ねていくうちに地域活動のことを知り、ページにどのように載せていくか、どうしたら見やすいページになるか、たくさんの人に見てもらうにはどうすればいいかななどをグループ内で相談しながらページを作成しました。

この取り組みによってふだん地域活動を知る機会があまりない大学生が社協やボランティアセンターのことを知りボランティアさんと交流するなど、ただ単にホームページを作ったということだけにとどまらず、それ以上の広がりを見せています。

この阪大生によるページは従来のボランティアセンターの案内に加え、障害者福祉作業所の商品案内や子育てサークルの紹介などさらにグレードアップしています。今後は「アクセス」のメンバーが引継ぎ、公開していく予定です。

ホームページのURL(アドレス)は、<http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc> です。

ボランティアを始めたい人のための 市社協登録ボランティアグループオープンセミナー

ボランティアセンターでは5月より皆さんに市社協登録ボランティアグループの活動を知っていただくことを目的にオープンセミナーを開催しています。

5月 さわやか



歌に合わせた楽しい体操を通してお年寄りや障害者の健康増進を図っているグループです。

参加者全員で歌体操を楽しみました。

6月 ステッキ



寝たきりや痴呆性の高齢者の介護者の杖のような支えになることを目的に誕生しました。みんなで高齢者疑似体験をし、お年寄りの体を体験しました。

7月 小さな手



寝たきりや痴呆症の高齢者の介護を援助するために手作りの介護用品を作成しています。にぎりっこやお手玉など簡単な介護用品を作ってみました。

9月 みちしるべ



障害者・高齢者の方の外出介助や通院介助を中心に活動をしているグループです。

車椅子やアイマスクの体験をしました。

11月以降もぞくぞく開催予定です。ぜひご参加ください！(P8 今後の予定 参照)

あの瞬間を忘れない...

救命救急訓練

地震情報のニュースを聞かされるたびに、阪神・淡路大震災を思い出します。

9月5日に市社協災害支援ネットワークの主催で北消防署にて救命救急訓練が実施されました。参加者は全部で49名。私は今回初めての参加でベテランの方々と一緒にさせて頂きました。



まず、応急手当の基礎知識、次に救命に必要な応急手当の基礎実技です。参加者は熱心に消防署の方のお話を聞きながらメモを取り、また心肺蘇生法の手順では実技講習も行なわれて真剣に実技練習に取り組みました。

最後には消防署の方々に参加者全員からお礼を込めて拍手が送られました。

(そよかぜ A.K)

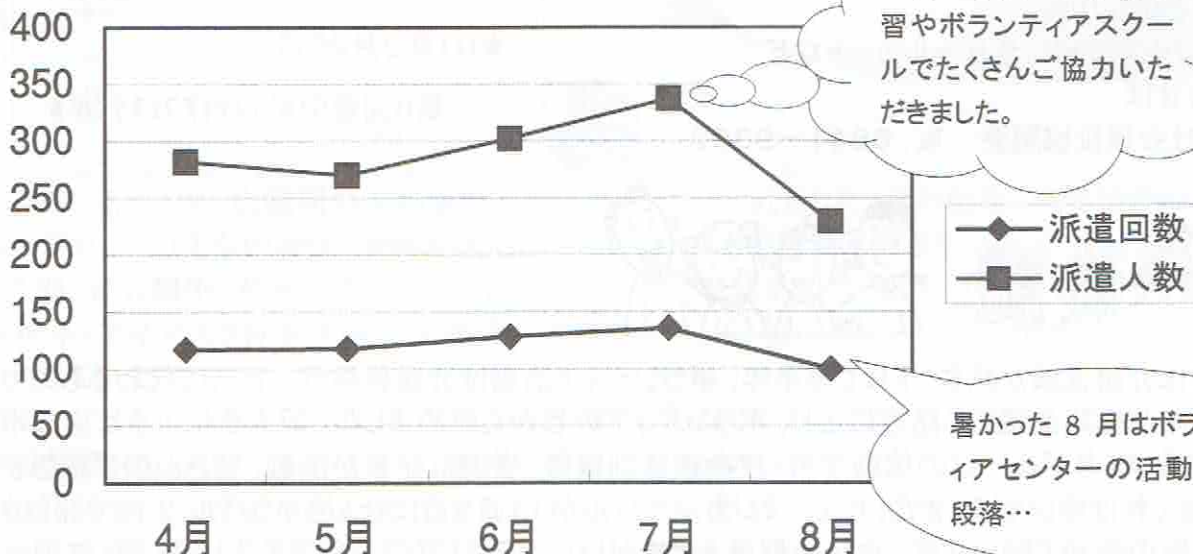


ボランティアセンター活動報告

ボランティアセンターは平成11年度には延べ3,398名もの方々が活動されました。

12年度に入ってから引き続きさまざまな場面でボランティア活動が行われています。

平成12年度ボランティアセンター活動状況



ボランティアはいま

市社協で小地域福祉ネットワーク活動の勉強をさせていただいたのをきっかけに、現在、野畑校区福祉委員会でベテランスタッフに支えられながら活動しています。閉じこもりがちな高齢者に地域へ溶け込んでいただけるよう、又、生き生き笑顔で帰っていただきたいと願いつつ、ふれあいサロンや行事に取り組んでいます。

「小さな手」での介護用品作りや障害のある方の介助を通して介護する方にもされる方にも、前向きに生きるために、心の支えがいかに大切かを教えていただきました。

これからも「心をそえて、ゆったりと」を胸にボランティアをさせていただきたいと思っています。(E.K)

★使用済みプリペイドカード集めてます！！

「もういらないから…」と捨ててしまおうと思っている使い終わったテレフォンカードや交通機関のカードを、福祉のために役立ててみませんか。市社協では使用済みプリペイドカードを集めています。このカードは換金して市社協の事業費として活用させていただきます。

対象となるのは

テレフォンカード、ラガールカードなど

お問合せは

豊中市社会福祉協議会 Tel. 6841-9393

今後の予定

★毎月：

ボランティアを始めたい人のための

登録ボランティアグループ

オープンセミナー

11月：友愛電話訪問グループ

「聴くの会」

12月：運転ボランティアグループ

「豊中アッシー」

1月：ビデオ制作ボランティア

グループ「ズームイン」

2月：パソコンボランティア

グループ「アクセス」

3月：青少年ボランティア

グループ「つぼみ」

★11月3日：ヒューマンカーニバル

★11月4日～6日：ねんりんピック

大阪ボランティア

フェスティバル

★11月：年賀状ボランティア

★12月2日：社協設立50周年

記念大会

★01年2月25日：

第8回豊中ボランティアフェスティバル

編集後記



今回は介護保険がスタートして早半年、ボランティア活動は介護保険サービスに代わるものではありませんが編集会議でも話題に上り、ボランティアの目から眺めました。阪大生による社協のホームページ作成・各グループの体験学習・救命救急訓練等、多彩な記事が満載、皆さんのご感想をお聞かせ願えれば幸いです。また、ヒューマンカーニバルが11月3日にせんちゅうパル 2 階で開催されます。多数の参加を願います。自分の健康と生きがいにプラスになるように工夫し長く細く無理せずに活動しましょう。(T.I)